

# 議会だより

NO. 72

今月号の表紙

「雪から桜へ衣替え」

担当 高橋 玉美

特集：船井電機跡地活用調査特別委員会が開催されました  
令和6年度三好市当初予算の主要施策

3月14日（木）

## 船井電機跡地利活用調査特別委員会が開催されました



金村 広報編集委員長 高井 市長 西内 議長 古井 船井電機跡地利活用調査特別委員長



皆様の関心が大きい船井電機跡地施設整備計画について、委員会を踏まえた話を伺ってきました。

**（金村広報編集委員長）**

船井電機跡地に建設予定の施設は、どのような機能を持った施設を構想していますか。

**（高井市長）**

具体的な機能はこれから策定する基本計画の中で検討しますが、多目的な施設や防災、さらには地域のよりよい未来をつくるための付加価値を生む機能を考えています。防災減災対策は市の最も大事な政策であり、災害時には、池田総合体育館と連動させて、福祉的措置が必要な方々の避難場所をはじめ、物資集積場所、ボラ

### Q 船井電機跡地とは？

2012（平成24）年に故船井哲良様よりご寄付いただいたこの土地は、現在三好市が所有しており、池田総合体育館の横にある敷地です。面積は約16,500㎡あり、この敷地を活用した施設整備計画が検討されています。

### Q 何が建築されるの？

図書館、公民館（市民活動施設）、多目的ホールなど、市内全体の多様な利用者を対象とした「広域利便性施設」の建築を検討しています。また、災害時の利用や交流とにぎわいを創出する魅力的かつ効果的な施設の整備を目指しています。



広大な面積の船井電機跡地。多様な方が活用できる基本構想が求められる。

ンティアの受け入れ窓口など「受援」機能を持たせる場所としたいと思います。平時日常時から使える施設とすることで有効かつ効率的に運用します。

また、地域の皆様から「池田の中心部には古い公民館以外の会議室やホールがない」との声を多く聞きました。このことを課題と捉え、新しい施設は市民が気軽かつ開放的に使えるようにしながら、様々な人が集うことで新たな活動の創出が期待できる施設を目指します。

(古井特別委員長)

建設予定地を船井電機跡地としたのはなぜですか。

(高井市長)

私の行政運営のポリシーとして、「①持っているもの、あるものを活用する」「②資源を集約して、皆で助け合い支え合って生きていく」「③身の丈に合った生き方をする」との気持ちを持っています。市が持つ土地として、池田町の中心部のサンライズビル跡地と船井電機跡地は今後市民のためにどう使うかは最大の関心事の一つであったかと思えます。

かつてはサンライズビル跡地に図書館や公民館、多目的ホールの複合施設整備が検討されていましたが、約16,500㎡ある船井電機跡地は駐車場の確保も可能なので、主に広域からの利用に供する機能を集約する施設の整備用地として適していると判断し、船井電機跡地に建設を予定することにしました。



(金村広報編集委員長)

予算規模はどの程度を想定していますか。

(高井市長)

令和6年度から施設の規模

や機能の検討に入ります。これに伴い施設整備や維持管理費の概算を検討するので、基本計画を策定する中でお示ししたいと考えています。「いくらかかるか(かけるか)」は大事ですが、私は人口や財政状況を踏まえて、将来負担にならないものとするは前提条件だと思っています。皆さまに愛される施設を建設しますが、身の丈に合い将来世代の負の遺産とならないよう計画していくつもりです。



(古井特別委員長)

施設の整備スケジュールを教えてください。

(高井市長)

令和6年度に基本計画を、令和7年度以降に設計、工事に入っていくこととなります。長くお待たせしているのです、可能な限り早くできるように努力していくつもりです。



(金村広報編集委員長)

計画の策定にあたり、市民の意見をどのように組み上げますか。

(高井市長)

基本構想では、パブリックコメントを通じて市民皆様の貴重なご意見を頂戴しました。

今後は、基本計画策定のなかで、学識経験者や各種団体、公募などで構成する策定委員会を設置し、様々な角度からご意見を頂戴しながら計画策定に取り組みます。

また、パブリックコメントほか、広く市民の皆様や市に関する多くの皆様のご意見を伺う機会を検討して参りたいと考えています。

市議会と対話しながら、計画案が固まり次第、できるだけ地域の皆様に情報提供する機会を多くしていくつもりです。



**Q 民営化された高齢者施設での人員不足への市の対応は**  
**A 人手不足は介護医療で顕著だが全業種だ、既存の制度で**

**Q** 自衛隊に提供された住民基本台帳名簿の成果を聞く。名簿から採用へはどうか活用したか。

**A** 令和4年入隊者3名、5年入隊者0名、6年入隊者予定2名。自衛隊徳島協力本部で現状のまま厳重に管理している。

**Q** 「三好市高齢者保健福祉計画」は事業所の役割に人材確保を置き、事業者任せ民営化して市の役割に担い手の確保や育成を掲げていないのが誤りだったのでないか、そこで聞く。

**①** 民営化された高齢者施設等の従業員は充足しているのか。

**②** 三野病院看護助手はなぜ会計年度任用職員なのか。

**③** 西祖谷のグループホームもみじは閉鎖したが、どう考えるか。

**④** 「看護師等の確保を促進する措置に関する基本指針改定」をどう受け止めるか。

**⑤** 「医療介護の総合的な促進に関する県の計画」で活用できるメニューはないか。

**A** ①公設民営化や民間譲渡、指定管理された老人ホーム等は、配置数を満たしている。入所者数に応じて職員配置されているが介護看護職人材不足が問題になっている。

**②** 三野病院看護助手は、任務の内容と勤務体系に応じ会計年度任用としている。看護師等の基本指針に則っている。

**③** グループホームもみじは民間施設なので回答しない。

**④** 西部Ⅱ医療圏では看護師数は平成28年459人、令和4年に425人と34人減少し、准看護師は平成28年に372人、令和4年に342人と30人減少している。危機感を持っている。

**⑤** 単独の市町村が対象となるメニューはないので今後研究しながら近隣市町との連携を県に要望していく。



美浪 盛晴  
(共産党)



西祖谷のグループホームもみじ



金村 照一  
(青空の会)



能登半島地震では、多くの家屋が倒壊した

**Q 南海トラフ巨大地震から市民の命と安全をどう守るのか**  
**A 自助・共助・公助の役割を理解し連携して取り組む**

**Q** 家屋及び水道管の耐震化の進め方と助成制度について伺う。

**A** 耐震診断から補強計画までは市が負担する。耐震改修工事費150万円、耐震シェルター設置150万円、耐震ベット設置60万円これらと併せてスマート化工事を行う場合は50万円。住み替えや建て替えに伴い古い住宅を壊したい場合も50万円の補助。

令和6年度から3か年計画で家具転倒防止金具を配布予定。水道管の耐震化は18.4%で今後重要施設のあるところを優先して行う。

**Q** 発災時には道路が寸断され地上からの救助や支援が困難視される。ヘリの発着場の確保と整備は出来ているか、またドローンの操縦技術取得者の養成状況は。

**A** 発着場は40か所、ドローンは1機導入し組織体制づくり中。

**Q** 避難所での蓄電設備の確保状況について伺う。

**A** ポータブル発電機を40か所、太陽光発電による蓄電設備を5か所に設置。今後、公共施設等太陽光発電等導入調査事業の調査事業結果に基づいて検討。

**Q** 断水時に対処するため井戸水や谷川の水質調査と避難所に雨水利用の簡易タンクの設置を提案する。

**A** 災害時には有効な方法と思う、費用や設置の是非を検討していく。



大西 耕司  
(至誠三好)

**Q 池田総合体育館、三好市三野総合体育館について**

**A 両体育館とも、コロナ禍前の利用状況に戻っている**

**Q 現在の池田総合体育館と三野体育館の利用頻度は。**

**A** 令和5年4月から令和6年2月までの11か月間で、池田総合体育館は45,970人、三野体育館は19,480人である。

**Q どういった方が使用しているのか。**

**A** 池田総合体育館、三野体育館ともにスポーツ団体の利用が多い。その中でも中高生の部活動に多く使用されている。

**Q 体育館でフットサルやサッカーはできないのか。**

**A** 一律に全てを禁止しているわけではなく、実地団体が対応したうえでの利用は可能である。



**Q 女性の人権保障と男女平等社会実現をどう取り組むか**

**A 女性への支援を関係者と連携し、包括的に行う**

**Q** 4月1日から施行の「困難な問題を抱える女性支援法」、市の担当窓口は、また専門相談員の設置、努力義務とされている市の基本計画の策定はどのようにするのか。

**A** 担当窓口については決めていない。相談内容により子育て支援課、健康づくり課、地域福祉課、長寿障害福祉課、人権室など、これまで通り連携して、支援対象者が必要とする支援を包括的に行っていきたい。現在相談内容に応じて相談員が設置されているが、女性支援のための専門相談員の養成については状況に応じ検討したい。

現在、三好市第4次男女共同参画基本計画を策定中であり、その中で「困難な問題を抱える女性の支援計画」として一体的に位置づけ策定していきたい。

**Q** 2024年の日本は超高齢化社会をはるかに超え、労働力不足や社会保障やインフラの維持が困難になると予想されている。市の健康課題に今後どうとりくむか。

**A** 乳幼児期から高齢期まで様々な場面で健康を守る必要性について伝えてきた。糖尿病や高血圧などが重症化し、透析導入となり退職するといった実態があり、働く世代から予防にとりくむことが重要と考え、新たに「働く世代への健康サポート事業」等を計画している。

今後、人口減少・高齢化に加えメンタルヘルス、感染症・災害時の健康を守ることなど課題に取り組みたい。



高橋 玉美  
(青空の会)



**Q 市内の介護事業所が休止した市の受止めは  
A 休止の原因は人員不足によるものである**



平田 政廣  
(青空の会)

**Q** 構成世帯20戸を下回る自治会数はいくらかあるか。

**A** 460自治会のうち282あり、割合は61.3%である。

**Q** 自治会機能が弱体化した場合、行政運営に及ぼす影響とその対応策は。

**A** 自治会には市行政に係る周知、伝達に関するもののほか、道路の維持管理、ごみ集積所の管理、防犯灯の管理など、行政の業務を補完している点が数多くあり、行政運営に大きく影響する。

対応については、現行の支援制度とともに、集落支援員や自治会長との意見交換会などで地域の実情や集落の課題をお聞きして地域の実情に応じた対策を講ずる。

**A** 介護人材不足の問題は重く受け止めている。今後みよし広域連合や東みよし町と連携して協議を行い、解決策を見いだしたい。

山城地区を中心とした訪問介護については、事業所の人員不足、移動距離が長いことから赤字と聞いている。訪問系は5%加算から、令和6年度に15%を上乗し20%加算しているが、今後施策的な推移を見守り事業所と相談し制度について考えていく。



**Q** 介護人材の確保について市の考えは。



田埜 泰弘  
(無所属)

**Q 三好市の直近のふるさと納税の実績は  
A 県内 25 自治体中 15 番目**

**Q** ふるさと納税の直近の実績は。

**A** 令和4年度は件数2,599件、寄付額3,643万2,000円で、県内25自治体中、15番目である。

**Q** 企業版ふるさと納税の実績は。

**A** 令和3年度からの累積で、5社から総額370万円である。

**Q** 業績を上げるために考える方策は。

**A** 返礼品の方は、実績ある中間業者への委託や取次のインターネットサイトを追加する。企業版の方は、市長によるトップセールスを充実させる。

**Q** ふるさと納税全般について市長の来年度への方針について。

**A** 公約でもあり、増加に向けて戦略をたてるとともにトップセールスもやっていきたい。

**Q** 新市庁舎の駐車場への太陽光発電設備設置予定の有無は。

**A** 庁舎西側駐車場に設置予定である。

**Q** 太陽光パネルの含有有害物質についての知識と処理についての認識の有無は。

**A** 鉛、カドミウム、ヒ素、セレンを含んでいる可能性があり、その処理には法規に則った適切な対応が必要だ。

**Q** 環境の保全を掲げる三好市環境条例と太陽光パネルの設置に整合性はあるのか。

**A** 条例は理念条例であり、パネルの処理は未だ国による個別の規定はないので現状では処分は難しく、今後の国の対応に従う。





天羽 強  
(青空の会)

**Q 介護のコンパクトシティーを検討すべき**  
**A 過疎高齢化の解決には、重要課題と認識**

年	2020	2035	2050
総人口	23,605	15,120	9,148
15-64人口	10,769	6,035	2,991
75歳以上人口	6,152	5,807	3,836
高齢化率	46.1	54.8	62.3

地域別推計人口 (2023年12月22日公表)

**Q** 大阪万博より能登地震支援を最優先すべき。

**A** 万博では、三好への人の流れを創る取組等を進める。

**Q** 住宅の耐震化率は。

**A** 69.3%である。

**Q** 耐震改修等は全額公費か応能負担とすべきだ。

**A** 市独自で40万円の上乗せ補助等、負担軽減事業を推進中、独自補助を継続する。

**Q** 日本の避難所はブルーシートに毛布で雑魚寝。避難所環境が悪く避難期間が長いと関連死が増える。スフィア基準の確保、災害時の快適トイレの取り組みは。

**A** 基準を熟知した上で避難所運営をすべきだが、現状はそれに及ばない。快適トイレは、状況に対応できるよう、取り組んでいく。

**Q** 地域包括ケアシステム構築は、市の存亡をかけた大事業になる。介護のコンパクトシティーを検討すべきだ。

**A** コンパクトシティー形成は重要課題と認識。広範囲の過疎地域で、福祉資源を活用し、高齢者をどう支えていくか議論が必要である。

**Q** 18歳以下の国保被保険者均等割を実質上ゼロにする一般会計上の制度を創設すべきだ。

**A** 現時点では考えていない。県の助成拡大による財源は、他の子育て政策で検討したい。

**Q 集落支援対策は**  
**A 三好市集落支援包括事業を引き続き実施する**

**Q** 集落支援対策はどのように対応する考えか。

**A** 平成23年度から実施している三好市集落支援包括事業を令和6年度も引き続き実施する。集落支援包括事業は、大きく分けて買物支援、生活用水確保、集会所の新改築、鳥獣害対策、道路の維持管理の5事業を実施している。

買物支援事業について移動販売車両購入補助割合を3分の1から2分の1に引き上げ、補助上限額を100万円から200万円に拡充した。

道路の維持管理事業については、1メートル当たりの補助単価12円に、草刈り機器の消耗分を加算して15円に増額した。生活道路の維持管理事業を実施する自治会等の団体に貸し出すハンディ式ブロワーを管理課及び各支所に配備している。

集落支援員は、令和6年度から本庁、三野支所、井川支所に各3名を配置し、山城

支所、西祖谷支所、東祖谷支所には各4名を配置する計画をしており地域の实情に応じ集落の巡回やその状況の把握、課題分析及び解決策、地域団体等との協議、話合いの場づくり、災害など有事の際の協力支援、空き家調査などのほか、市民と行政との連絡調整や司書業務の補完等の業務に従事する。

**Q** 商工観光振興対策の具体策は。

**A** 商工対策としては、地域のにぎわい創出につながる商店街等活性化支援事業、市内事業所に就職する方を支援する就職促進事業、新たに創業する方への支援と共に空き店舗を活用されて事業を行う方への支援として創業・空き店舗等再生支援事業、IT活用や加工特産物品開発、販路拡大などを行う中小企業等総合支援事業などで補助金の交付を行い支援する。

観光振興対策については、令和6年度の具体策として、本市観光振興策の指針となる第3次観光基本計画を策定し、今後の方向性や目指すべき将来像、関係する主体がそれぞれ担うべき役割や目標などを定める。



古井 孝司  
(公明党)

# 議決結果

令和6年2月定例会議に提出された報告・議案等の議決結果の一覧です。

番号	件名	本会議結果	常任委員会 特別委員会	
			付託	結果
報告 1	専決処分の報告について（令和5年度三好市一般会計補正予算（第9号））	—	—	—
承認 1	専決処分の承認について（令和5年度三好市一般会計補正予算（第10号））（先議）	承認	—	—
議案 1	三好市手数料条例の一部を改正する条例について（先議）	可決	—	—
議案 2	令和5年度三好市一般会計補正予算（第11号）（先議）	可決	—	—
議案 3	三好市行政財産使用料条例の制定について	可決	総務 企画	可決
議案 4	三好市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決	総務 企画	可決
議案 5	三好市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び 三好市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	総務 企画	可決
議案 6	三好市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部を改正する条例について	可決	総務 企画	可決
議案 7	三好市ケーブルテレビ条例の一部を改正する条例について	可決	総務 企画	可決
議案 8	三好市地域みらい創発センターの設置及び管理に関する条例の制定について	可決	総務 企画	可決
議案 9	三好市乗合タクシーの運行に関する条例の制定について	可決	総務 企画	可決
議案 10	三好市自家用自動車有償運送に関する条例の一部を改正する条例について	可決	総務 企画	可決
議案 11	三好市スクールバスの運行及び住民利用に関する条例の一部を改正する条例について	可決	総務 企画	可決
議案 12	三好市税条例等の一部を改正する条例について	可決	総務 企画	可決
議案 13	三好市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	文教 厚生	可決
議案 14	三好市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の 一部を改正する条例について	可決	文教 厚生	可決
議案 15	三好市社会体育施設条例の一部を改正する条例について	可決	文教 厚生	可決
議案 16	三好市西祖谷交流学習施設条例の廃止について	可決	文教 厚生	可決
議案 17	三好市水道事業給水条例及び三好市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに 水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	可決	産業 建設	可決
議案 18	三好市ふれあい紅葉センター条例等の一部を改正する条例について	可決	産業 建設	可決
議案 19	三好市森林総合利用施設祖谷溪キャンプ村の設置及び管理に関する条例の廃止について	可決	産業 建設	可決
議案 20	三好市営住宅条例の一部を改正する条例について	可決	産業 建設	可決
議案 21	三好市空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例について	可決	産業 建設	可決



番号	件名	本会議結果	常任委員会 特別委員会	
			付託	結果
議案 22	市営土地改良事業の廃止について	可決	産業建設	可決
議案 23	三好市川崎西谷残土処理場基金条例の一部を改正する条例について	可決	産業建設	可決
議案 24	市道の変更について	可決	産業建設	可決
議案 25	指定管理者の指定について（祖谷秘境の湯保養センター及び祖谷溪温泉秘境の湯）	可決	産業建設	可決
議案 26	指定管理者の指定について（サンリバー大歩危）	可決	産業建設	可決
議案 27	財産の無償貸付けについて（旧野呂内地域多目的施設）	可決	総務企画	可決
議案 28	財産の無償貸付けについて（旧西宇地域多目的施設）	可決	総務企画	可決
議案 29	令和5年度三好市一般会計補正予算（第12号）	可決	三常任	可決
議案 30	令和5年度三好市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	産業建設	可決
議案 31	令和6年度三好市一般会計予算	可決	三常任 船井	可決
議案 32	令和6年度三好市国民健康保険特別会計予算	可決	文教厚生	可決
議案 33	令和6年度三好市後期高齢者医療特別会計予算	可決	文教厚生	可決
議案 34	令和6年度三好市土地取得事業特別会計予算	可決	総務企画	可決
議案 35	令和6年度三好市井内財産区特別会計予算	可決	総務企画	可決
議案 36	令和6年度三好市簡易水道事業特別会計予算	可決	産業建設	可決
議案 37	令和6年度三好市水道事業会計予算	可決	産業建設	可決
議案 38	令和6年度三好市国民健康保険市立三野病院特別会計予算	可決	文教厚生	可決
議案 39	令和6年度三好市下水道事業会計予算	可決	文教厚生	可決

### 追加議案

番号	件名	本会議結果
報告 2	損害賠償の額の決定及び和解について	—
報告 3	令和4年度諏訪公園改修工事（土木）の変更請負契約の締結について	—
諮問 1	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
同意 1	三好市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
同意 2	三好市教育委員会委員の任命について	同意
同意 3	三好市教育長の任命について	同意
議案 4	三好市副市長の選任について	同意

### 会議録 QRコード

詳しくはこちらから



※最新の会議録が掲載できていない場合があります。あらかじめご了承ください。

# 議決結果

委員会で審査された議案を厳選して紹介します！

## 議案第15号

三好市社会体育施設条例の一部を改正する条例について



文教厚生常任委員長  
三木 和弘

**Q** 用途廃止する三好市井川グラウンドでは、サッカー一場等の料金設定がされており、非営利目的でのサッカー場利用は1時間につき420円となっている。今回新たに整備した三好市井川運動公園では、非営利目的であれば1時間につき840円、グラウンドの2分の1以下を使用する場合は全面使用料に2分の1を乗じた額となっている。サッカーをする場合であれば、基本的には同じ料金ということか。

**A** 井川運動公園は、サッカー場やゲートボール場といった競技の限定、区別を行わず、多目的に利用していただけるグラウンドとして新たに整備を行った。料金設定は、三好市内の他の多目的に利用できるグラウンドと統一させていただいている。サッカー場利用料金については、非営利目的でグラウンドの2分の1以下の使用であれば、従来どおりである。

## 議案第29号

令和5年度三好市一般会計補正予算（第12号）  
2款総務費 3項戸籍住民基本台帳費 1目戸籍住民基本台帳費

**Q** 戸籍関連システム改修委託料の事業説明を求める。

**A** 令和5年6月の戸籍・住民基本台帳法の一部改正に伴い、戸籍附票の氏名にふりがなを記載するためシステム改修を行うものである。

**Q** 現在、戸籍にふりがなはないと思うが、どのような方法で記載していくのか。

**A** 現在の予定では、令和7年5月に住民基本台帳に記載されているふりがなを仮のふりがなとして、本籍地から各個人に確認の通知書を出す予定となっている。回答期限は1年間で、修正の届け出があった方については修正し、期限内に届け出がなかった方については職権で仮のふりがなを公式のふりがなとして記載する。

## 議案第31号

令和6年度三好市一般会計予算  
4款衛生費 1項保健衛生費 1目保健衛生総務費

**Q** 以前に請願が提出された三好市医師会准看護学院への負担金が計上されているが、説明を求める。

**A** 三好市医師会准看護学院が要望された250万円について、三好市と東みよし町との負担割合により、三好市分159万6千円を予算計上したものである。

## 議案第18号

三好市ふれあい紅葉センター条例等の一部を改正する条例について



産業建設常任委員長  
中 耕司

**Q** 紅葉温泉には身体障害者に対する割引が設定されているが、設定が無い施設もあるのはなぜか。

**A** 各施設設置に至る背景が様々で、施設が設置されたときの旧町村で決めた料金体系を引き継いでおり、現在の料金になっている。

## 議案第31号

令和6年度三好市一般会計予算  
5款農林水産業費 1項農業費 2目農業総務費

**Q** 有害鳥獣捕獲報償金の積算根拠及び内訳は。

**A** 報償金の積算根拠は、過去の実績を鑑みて計上している。内訳は、猪が900頭で単価が10,000円、

ニホンザルが400頭で単価が20,000円、ニホンジカが3,000頭で単価が10,000円で、合計4,700万円を計上している。

## 6款商工費、1項商工費、3目観光振興費

**Q** 近年、そのの郷が受け入れる体験型教育旅行生が大幅に増加しているが、一方で受入れ家庭が水回り設備の老朽化を理由に減少している。この現状で、受入れ家庭を持続して増やすためにも設備改修の補助を市として検討できるか。

**A** 現状では補助金はないが、受入れ家庭が高齢化や設備の問題で増えていない状況を把握している。近隣の美馬市では、コロナ対策の資金を財源として受入れ家庭の改修補助を行い、一定の効果があったと聞いているので、今後研究したい。

## 議案第9号

三好市乗合タクシーの運行に関する条例の制定について



総務企画常任委員長  
田村 俊哉

**Q** 運行区域の8地区はどこか。

**A** 運行区域は山城・三縄・三野・井川・箸蔵・佐馬地・東祖谷・西祖谷で、旧池田町内については運行しない。

**Q** 運行時間や目的地はどのように計画しているか。

**A** 運行日時は土日祝日を除く、8時30分から16時まで、乗降場所は自宅から指定区域内の医療機関や金融機関、郵便局、市役所の出先機関、その他施設としているが、実際利用の頻度が高い場所を指定したいと考え、準備を進めている。今後の実証実験を踏まえ、改善しながら公共サービスの提供に努めたい。

## 議案第31号

令和6年度三好市一般会計予算  
2款総務費 1項総務管理費 9目バス対策費

**Q** 定期運賃高騰対策助成金はどのようなものか。

**A** 市営バスの定期代見直しにより、急激に定期代が高騰することに対する助成である。現状の該当者は約10名である。

## 2款地方譲与税、5項森林環境譲与税、1目森林環境譲与税

**Q** どのような事業に充当しているか。

**A** 主に林業振興費の各種事業に充当しているが、林業振興費以外の事業としては、有害鳥獣対策事業、塩塚キャンプ場事業、給食用わりばし関係等の事業に対して充当予定となっている。

# 令和6年度当初予算

2月定例会議では、令和6年度当初予算に関する議案を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。  
三好市における新規・主要な施策を紹介します。

## 交流施設整備

### ○第2三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）整備事業（継続）

予算額：180,024千円

サンライズビル跡地を建設用地として徳島県と三好市が計画する第2三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）を整備する。

### ○（仮称）船井電機跡地施設整備事業（継続）

予算額：17,877千円

広く多世代の市民らが利用する図書館や公民館（市民活動施設）、多目的ホールを中心とする施設を船井電機跡地へ配置するにあたり施設整備にかかる基本計画を策定する。



建設中のサンライズビル跡地

## 集落支援

### ○集落支援包括事業（継続）

予算額：45,075千円

人口減少と高齢化の進行により、地域におけるコミュニティ機能の維持が困難な自治会や集落が増加していることから、これらの課題を克服し、住みよい集落環境づくりに向けて、それぞれの地域で行われる取り組みを支援する。

「買い物支援事業」、「生活用水確保事業」、「集会所の新改築事業」、「鳥獣害対策事業」、「道路の維持管理事業（私道の開設・改良、道路の除草作業）」。

## 公共交通再編整備

### ○乗合タクシー運行事業（新規）

予算額：72,788千円

公共交通再編に伴い、令和6年度に運行予定の山城地区・池田町三縄地区の乗合タクシーに係るコールセンター運営・予約システム運用及び令和7年度に運行予定の三野地区・井川地区の乗合タクシーに係る予約システムを構築する。



## 移住・定住促進

### ○定住促進対策事業（継続）

予算額：45,380千円

人口減少の緩和及び地域活性化を図るため、これまで整備してきたお試し住宅を三好市暮らしの体験の場、また仕事や住居探しの拠点として活用してもらうとともに、風土や気候を体感したり、地元との交流の機会を提供するほか、都市部の企業等と連携し企業に所属される人材等の地方循環を促進するため、テレワーク環境を整えた仕事場と住まいが近接・融合する環境（住宅9戸、共用オフィス）を提供する。



三好市人材循環促進施設

## デジタル化の推進

### ○DX推進事業（新規）

予算額：42,668 千円

市民が情報を取得できる仕組み、市役所からお知らせする内容、市役所窓口のキャッシュレス決済や電子申請時のオンライン決済の検討及び内部業務に係る汎用業務システムを導入する。

### ○申請書作成支援サービス導入事業（拡充）

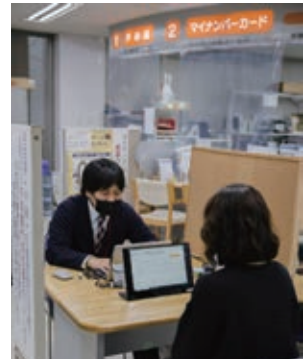
予算額：4,560 千円

住民ニーズに合わせた「手続きに漏れがない、書かせない、歩かせない、待たせない申請サービス」を実現するための申請書作成支援システムの利用を拡充する。

### ○「地域のデジタル化推進拠点」創出事業（継続）

予算額：23,100 千円

三好市地域利便性施設（仮称）にデジタル技術を実装することで、地域の魅力向上を図りながら、デジタル技術を地域で学ぶ学習支援施設としての場を創出する。3カ年事業の2年目となる令和6年度では、推進計画を基に施設にデジタル機器を用いたサービスを実証事業として試行的に提供。実証結果を基に推進計画の改訂等を行い、3年目の実装につなげる。



デジタル支援サービスを活用

## ゼロカーボンの推進

### ○公共施設等太陽光発電等導入調査事業（新規）

予算額：10,000 千円

公共施設等（施設敷地、駐車場等を含む）における太陽光発電設備等の発電量調査や日射量調査、屋根・土地形状等の現地調査等を行い、太陽光発電設備の導入可能性調査を行う。また、優先度が高い3施設程度について、次年度以降の整備に向け太陽光発電パネルの配置及びシステム系統図等について検討を行う。

### ○エネルギーマネジメントシステム導入事業（新規）

予算額：2,970 千円

市有施設において、比較的電気使用量の多い三好市学校給食センターの電気使用量調査データに基づき、電力デマンド制御を行うことにより省エネルギーを進めるため、空調設備にエネルギーマネジメントシステムを導入する。

### ○環境配慮型ワーケーションモデル創出事業（継続）

予算額：7,200 千円

脱炭素の推進と都市部から地方への新たな人の流れづくり等を推進するため、自治体と企業等が連携した環境配慮型の人流促進モデルの構築等を支援する。



三野町にある太陽光パネル

## 道路整備

### ○道整備交付金事業（継続）

予算額：334,120千円

地域のネットワーク化を構築し、観光拠点施設などへのアクセス改善や生活基盤の安定及び災害時における避難路確保など重要路線の整備を行う。

- ・市道改良9路線
- ・林道整備4路線

### ○社会資本整備総合交付金事業（継続）

予算額：351,831千円

秘境「祖谷」をはじめ、地域の特性を活かした「にし阿波観光圏」を軸とした観光振興支援や広域化する救急医療を支えるため、高速道路へのアクセスを含む交通ネットワークの強化を図り、安全・安心で活力ある地域を形成するため市道の整備を行う。

- ・市道改良4路線
- ・落石対策2路線
- ・橋梁修繕設計4橋
- ・橋梁補修4橋
- ・橋梁点検業務60橋



東祖谷（小川）に建設中の橋

## 農林業の振興

### ○三好市地域計画策定事業（新規）

予算額：3,850千円

法改正により従来の「人・農地プラン」を発展させた「地域計画」の策定が義務付けられた。当事業の目的は、市内各地域において協議の場を設け、地域の農地を将来的にどうしていくのかを明確化した「目標地図」の作成にあり、事業実施にあたっては、専門的技術を有する事業者を選定し、業務支援ととりまとめを委託する。

### ○鳥獣被害対策事業（継続）

予算額：61,653千円

イノシシ、ニホンザル、ニホンジカによる農作物等の被害防止対策として、捕獲報償金を支払う。近年、サルの被害が拡大していることからGPSによる行動調査を継続して行い、適切な罠の設置や捕獲の効率化を図る。

### ○里山森林整備支援事業補助金（拡充）

予算額：6,000千円

地域住民自らが森林所有者等に働きかけを行い、集落内における生活道路等に影響を及ぼしている支障木の解消を図り、里山における森林の管理の適正化を支援する。

令和6年度は、これまでの補助対象（人工林、竹林）に加え、広葉樹林もその対象とする。この拡充に伴って、作業単価の新設・見直しと補助上限額の引き上げ（300千円→400千円）も合わせて行う予定である。

### ○三好林業アカデミー校舎等新築事業（継続）

予算額：98,060千円

林業アカデミーの校舎を新築する事業費で林業事業を担う人材を養成する施設にふさわしいシンボリックな木造建築を予定している。また、運営にあたる「三好林業イノベーションセンター」の事務所の機能も合わせ持つものとしている。



地域計画策定会議の様子



## 商工業の振興・雇用促進

### ○創業・空き店舗等再生支援事業補助金（継続）

予算額：8,400 千円

市内の空き店舗等を活用して事業活動を行う場合に、空き店舗等の改修に要する経費及び賃借料の一部を補助することで、空き店舗等の解消による賑わいの創出と地域経済の活性化を図ると共に、新たに創業する者を対象として、事業に必要となるマーケティング調査、外注費などを対象とした補助を行う。

### ○企業版ふるさと納税事業（継続）

予算額：2,470 千円

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して民間企業が寄附を行う場合、損金算入措置に加え、法人関係税についても税額控除の特例措置がなされる制度である。報償費は寄附をいただいた企業に贈呈する記念品購入費、委託料は広く積極的に寄附企業を募ることを目的に、寄附企業とのマッチング支援業務を成功報酬型により支払うものである。

### ○新卒者等就職促進事業補助金（継続）

予算額：12,000 千円

若者の就職促進と市内事業所の人材確保を図るため、市内の事業所が新卒者及びUIJターン者を雇用した場合に、事業所と就職者に対して、1人当たり20万円（東京圏30万円）の就職助成金を交付する。また、就職者が市内の賃貸住宅に入居した場合には家賃補助を行い、若者の市内への就職促進と定着を支援する。



## 観光振興

### ○ジオパーク推進事業（継続）

予算額：14,886 千円

持続可能な地域づくりと日本ジオパークの認定を目指して「三好ジオパーク構想推進協議会」を設立し活動を行ってきており、令和6年度はいよいよ日本ジオパークの認定申請を行う。

推進協議会が日本ジオパークの認定申請をするにあたり必要な経費（事前準備・審査対応・事後対応）や、持続可能な地域づくりを目指したジオパーク活動を推進していくにあたり必要な活動経費を補助金として交付する。

### ○第3次観光基本計画策定事業（新規）

予算額：6,600 千円

様々な資源制約が強まる現在において、入念に検討された持続可能な観光戦略は必要不可欠とされている。三好市観光政策の指針となる第3次観光基本計画を策定し、今後の方向性や目指すべき将来像、関係する主体がそれぞれ担うべき役割や目標などを定める。

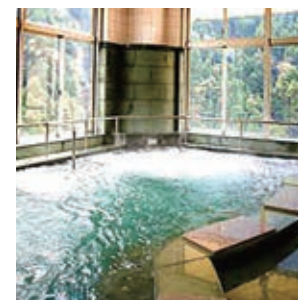
### ○サンリバー大歩危空調設備等改修事業（継続）

予算額：64,442 千円

空調設備等は設置から20年以上が経過しており経年劣化が著しく、機器が停止すれば営業に多大な支障をきたすため改修を行う。また適正な機器への更新により、省エネ効果が期待できる。令和5年度に設計を完了しており、閑散期である冬季に改修工事実施予定。



引用：三好ジオパーク構想 HP



引用：サンリバー大歩危 HP

子育て・高齢者・障害者・健康づくり支援

○こども家庭センター設置事業（新規）

予算額：12,698千円

児童福祉法の改正により、子育て世代包括支援センター（母子保健）と子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）の意義及び機能を維持したうえで、市町村は全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関の設置に努めなければならないとされたため、こども家庭センターを設置する。

○健幸サポート事業（新規）

予算額：2,276千円

働く現役世代の方の健康をサポートすることを目的として実施するもの。三好市に住所を有する小規模の事業所を対象とし、従業員の健診受診や、職場での健康に関する取り組みを支援する。各種取り組みを行い認定された事業所には、健診受診の従業員数により、1人あたり5,000円の健幸サポート事業応援金を事業所に付与する。



子育て支援センターで遊ぶ親子

○三野地区保育施設新築事業（継続）

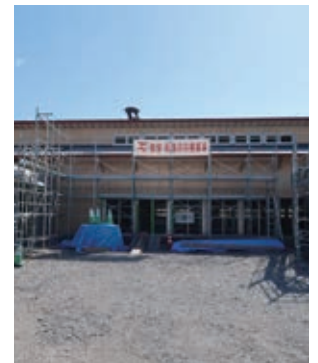
予算額：543,480千円

令和5年度から三野町芝生地区にて着工している「三野地区保育施設新築工事」にかかる費用。施設は、令和6年10月末に竣工予定。

○育児用品購入費補助事業（継続）

予算額：9,062千円

次世代を担う子どもの出生を祝うとともに子育ての経済的負担を軽減し、子育て支援を推進するため、2歳までの乳幼児の育児に必要な用品の購入費に対して助成を行う。



建設中の三野地区保育施設

○乳児家庭保育支援給付金事業（継続）

予算額：3,992千円

生活の安定と愛着形成の深化を図り、もって乳児の健全な成長に資することを目的として、乳児の保育を家庭で行う保護者に対し、乳児家庭保育支援給付金を給付する。

○山間地介護保険特別支援補助事業（拡充）

予算額：32,000千円

山間地域への安定的な介護サービスの提供を確保するため、介護サービス提供事業者に対し介護報酬に加算補助する。令和6年度は、山城地区の訪問系サービスについて、補助率を引き上げる予定である。



タクシー利用に対する支援

○高齢者等タクシー利用助成事業（継続）

予算額：45,000千円

移動手段の無い高齢者や障害者が在宅生活を続けられるよう、外出時の民間タクシー利用に対して支援を行う。また、高齢運転者による自動車事故防止を図るため、運転免許証の返納を推進する。

## 防災・減災対策

### ○災害時被災者生活支援システム導入事業（新規）

予算額：3,062 千円

大規模災害と多様化する業務に対応するシステムとして、被災後に罹災証明書が発行、被災者台帳作成・管理ができる生活再建支援における業務全体のマネジメントが可能となるシステムの導入を行う。

### ○防災ハザードマップ作成事業（新規）

予算額：15,270 千円

平成30年度に作成していたハザードマップの避難レベルの変更や土砂災害区域等の見直しが必要となったため、ハザードマップの更新を行う。

### ○家具転倒防止対策推進事業（新規）

予算額：4,824 千円

希望する世帯に対し、家具転倒防止器具の無償配布を行う。なお、高齢者や障害者等で自力で器具を取り付けることが困難な世帯については、作業員を派遣し取付支援等を実施する。

### ○本庁舎整備事業（継続）

2,322,085 千円

近い将来発生が懸念される東海、東南海、南海地震をはじめ台風やゲリラ豪雨などに伴う土砂災害等の自然災害に対し、市民の暮らしを守る拠点として、本庁舎整備を継続して進める。新庁舎は、令和6年9月末に完成予定、令和7年1月に供用開始の予定。

### ○防火水槽新設事業（継続）

20,583 千円

消防利水の低充足地域に防火水槽を配備し消火水利の強化を図る。

### ○消防ポンプ自動車購入事業（継続）

予算額：45,380 千円

三好市消防団には、ポンプ自動車や小型動力ポンプ積載車69台の消防車が配備されているが、配備から30年近く経過し老朽化した車両が多く、年次計画により車両の更新配備を行っている。令和6年度は小型動力ポンプ積載車5台を更新する。

### ○防災行政無線システム（同報系）整備事業（継続）

予算額：587,615 千円

既設アナログ方式防災行政無線の老朽化および、総務省「無線設備規則」の改正による、将来的なアナログ方式防災行政無線の使用停止に伴い、デジタル方式防災行政無線設備の構築を行う。

### ○耐震関係事業（継続）

予算額：58,763 千円

地震に対する「市民の安全安心」を支援するため次の事業を実施する。

- ・木造住宅耐震診断支援事業
- ・耐震計画支援モデル事業
- ・木造住宅耐震改修支援事業
- ・木造住宅の住替え支援事業
- ・耐震シェルター（ベッド）普及推進モデル事業
- ・第三者検査事業
- ・住まいのスマート化支援事業
- ・民間建築物耐震化支援事業補助金
- ・危険ブロック塀安全対策支援事業費補助金



防災行政無線システム



防災・減災対策

○老朽危険空き家除却促進事業（継続）

予算額：28,892 千円

老朽化により倒壊する恐れのある空き家を対象として、老朽危険家屋の除却事業に対し補助金を交付することなどにより、除却を促進し地域の安全安心と住環境の改善を図る。

- ・空き家除却補助金
- ・空き家不良度判定

教育の充実、文化振興

○辻小学校運動場防球ネット改修事業（新規）

予算額：16,890 千円

辻小学校運動場の防球ネットは、経年劣化により擁壁及びネット支柱の基礎部分にクラックが生じていることから改修を行う。

○重要伝統的建造物群「三好市東祖谷山村落合」公開施設「長岡家住宅」保存修理事業（新規）

予算額：33,924 千円

前回の修理から 17 年以上経過し、老朽化により全体的に傷みがみられるため、茅葺屋根葺き替えを行う。



修理予定の「長岡家住宅」

○池田総合体育館メインアリーナ照明設備改修事業（新規）

予算額：50,500 千円

メインアリーナの照明設備において、長期的なコスト節減とゼロカーボンの取り組みに資するような改修を行います。

討論

討論のあった議案の審査結果は次のとおりです。

議案第 18 号 三好市ふれあい紅葉センター条例等の一部を改正する条例について

14 番 並岡 和久議員、11 番 美浪 盛晴議員による反対討論の後、起立採決により可決しました。

1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	賛成 13 反対 5	可決
大西 耕司	田 埜 泰弘	金 村 照一	徳 川 一 広	村 中 将 治	田 村 俊 哉	高 橋 玉 美	大 柿 兼 司	西 内 浩 真	美 浪 盛 晴	古 井 孝 司	中 耕 司	並 岡 和 久	天 羽 強	平 田 政 廣	木 下 善 之	大 浦 忠 司	三 木 和 弘	伊 丹 征 治		
賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	-	反対	賛成	賛成	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成		

※ 10 番西内 浩真議長は採決に加わっていません。

# 人事案件

今期に提出された人事案件について、次のとおり同意しました。

## 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

内田 妙子（再任）

下川 純代（新任）

## 同意第1号 三好市固定資産評価審査委員会委員の選任について

内田 正和（再任）

新田 文江（再任）

嵯峨 勝（再任）

林 清和（再任）

井原 清幸（新任）

松端 範人（新任）

## 同意第2号 三好市教育委員会委員の任命について

大北 慶子（再任）

## 同意第3号 三好市教育委員会教育長の任命について

伊丹 賢治（新任）

## 同意第4号 三好市副市長の選任について

藤井 幸男（新任）



新たに副市長に就任した  
藤井 幸男副市長

## その他

### 令和6年能登半島地震の被災地へ義援金を送金

三好市議会から全国市議会議長会を通じて、義援金を送金させていただきました。  
被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

船井電機跡地利活用調査特別委員会は高知県土佐市へ、  
議会運営委員会は京都府福知山市へ視察に行きましたので報告します。

## 土佐市複合文化施設つな一で

令和6年1月26日（金）

船井電機跡地利活用調査特別委員会

「土佐市複合文化施設つな一で」は、令和2年にオープンした複合施設で、地域交流センター、市民図書館、観光交流センター、社会福祉協議会、商工会の既存施設をまとめた施設である。

ホールの客席は632席で、1階席は壁面に収納できる移動観覧席を採用しており、平土間のイベントスペースとしても活用することができる。「仁淀ブルー」にちなんだ青色の座席が鮮やかなホールで市民に親しまれている。

開放的な明るい雰囲気図書館は、蔵書が約9万7000冊で、中高生の利用が多く人気を呼んでいる。また、外光をふんだんに取り入れた明るい構造となっており、テラス席や学習室には、学生や高齢者が利用していた。広い共用空間を利用して、個展なども数多く開催されている。複合施設で生まれる相乗効果で、多くの利用者に親しまれており、年間利用者は約20万人にのぼる。本市においても、船井電機跡地に広域利便性施設の建設を計画して



いるところであるが、多世代が多様な用途に使えるホールや、災害時にも利用できる空間を整備することはもちろんのこと、交流と賑わいの拠点となる魅力的な施設が整備できるよう、今回の視察を参考にしながらしっかり検討していきたい。

## 京都府福知山市議会視察研修

令和6年2月1日（木）

議会運営委員会

京都府福知山市議会は、市民に開かれた議会を実現するために、議会基本条例施行後、情報公開の推進や、議会への市民参加の推進、議会運営の効率化など、積極的に議会改革に取り組まれている。

タブレット端末をはじめとしたICTを導入したきっかけは、平成29年の高校生議会の開催時に、学生が議場にタブレットを持ち込んで説明したことであるという。

タブレット端末の導入により、情報共有や、情報伝達の速達性、確実性が向上する。また、携帯性を活かし、行政視察や住民説明、各種会議にも活用することもできる。福知山市議会では、市民向けに多くの出張委員会などを実施しているが、その際の説明にタブレット端末を活用しているとのことであった。

また、災害時の現場状況共有にも活用が見込まれ、タブレット端末を活用する利点は非常に大きいと考える。導入までには、多くの協議や検討・検証がかかることであったが、三好市議会において、議会のICT化は、これから重点的に取り組まなければならない課題である。先進地での視察を大いに参考にさせてもらい検討していきたい。



## 6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 議会（開会） 議案説明	4	5	6	7	8
9	10 一般質問	11	12	13 一般質問	14 一般質問 議案質疑 委員会付託	15
16	17 予備日	18 文教厚生 常任委員会	19 産業建設 常任委員会	20 総務企画 常任委員会	21 予備日	22
23	24	25 委員長報告 質疑・討論 採決、散会	26	27	28	29
30						

### 編集後記

能登半島地震による被災地の断水は長引き、飲料水だけでなく、トイレの水や入浴など生活用水の確保が復興復旧をする上で重要な課題となってきました。同じように三好市でも防災を考える上で避難所の問題だけでなく、普段から雨水を貯めて生活水を確保しておくことや、災害時に使える応急給水施設など、ライフライン確保に備えておく必要性を考えさせられます。

孤立が心配される山間部では自前の水源をどう確保するか、また集落でどう水を共有するかが大きな課題です。谷や山から水をひくといった水事情の違いも、防災においては、ライフラインの確保が都市化していないことで、対応策にも違いがあるようです。

何年にもわたり山や谷から安定的に水が引けるよう、知恵と技術を伝えながら確保してきた水ではありますが、そもそも水はいったい誰のものなのだろうかと考えさせられます。

私達が心配するのは近い将来に起こるとされている「南海トラフ巨大地震」ですが、どこか他人事になっているようにも感じます。それぞれ自分が生き残るために必要なものは何かを考えてみたいものです。「準備しておくに越したことはない！」

高橋 玉美

#### 三好市議会広報編集委員会

金 村 照 一 委員長    高 橋 玉 美 副委員長    大 西 耕 司 委員  
田 埜 泰 弘 委員    古 井 孝 司 委員    伊 丹 征 治 委員

〔発行〕三好市議会    〔編集〕議会広報編集委員会    〒778-8501 徳島県三好市池田町シンマチ1500-2    ☎(0883) 72-7630 FAX72-3494